

学校コード F126310107582

注3

設置年度 令和 5年度

計画の区分： 学部等連係課程実施基本組織の設置

注1

届出

注2

京都ノートルダム女子大学 社会情報課程

【届出】 設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正前大学設置基準適用)

学校法人ノートルダム女学院
令和5年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 戦略企画室 戦略企画課

職名・氏名 課長 イクダ 池田 ヤスヒコ 康彦

電話番号 075-706-1701

(夜間) 075-706-1701

e-mail kaiso@notredame.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

社会情報課程

	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	15
4. 既設大学等の状況	16
5. 教員組織の状況	17
6. 附帯事項等に対する履行状況等	33
7. その他全般的事項	35

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人ノートルダム女学院

(2) 大学名

京都ノートルダム女子大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒606-0847

京都府京都市左京区下鴨南野々神町1番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ワダ タマキ) 和田 環 (平成20年11月)		
学長	(ナカムラ クミ) 中村 久美 (令和2年1月)		
課程長	(ヨシダ トモコ) 吉田 智子 (令和5年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和4年度に報告済の内容 → (4)
令和5年度に報告する内容 → (5)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和5年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）」により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含まれていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
社会情報課程 学士(社会情報)	文学関係 社会学・社会福祉学関係 教育学・保育学関係	4 年	20 人	2年次 0 人 3年次 0 人 4年次 0 人	80 人	-	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」）の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。）

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
A 入学定員	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20	-	0.75倍	-	0.75倍	-	
志願者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)					
受験者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)					
合格者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)					
B 入学者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)					
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.75	-					

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
- ・ () 内には、**編入学の状況について外数で記入**してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ **編入学生は記入しないでください。**
- ・ [] 内には、**留学生の状況について内数で記入**してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。**春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入**してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入**してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの**平均入学定員超過率**を記入してください。**計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。**なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の**平均入学定員超過率**を記載してください。
- ・ 「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の**控除後の「平均入学定員超過率」**を記入してください。なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する**学生数の割合**を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和6年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入**してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の**収容定員充足率**を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により**修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」**を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	15 [-] (-)	- [-] (-)	
2年次			- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
3年次					- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
4年次							- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
計	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	15 [-] (-)	- [-] (-)	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
令和元年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和5年度	15 人	0 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	0 人	0 人	
合計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{15} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基盤科目	海外研修(語学)Ⅱa	1-2-3休	2								2	
	海外研修(語学)Ⅱb	1-2-3休	2								2	
	日本語講読Ⅰ	1前	1								1	
	日本語講読Ⅱ	1後	1								1	
	日本語表現Ⅰ	1前	1								1	
	日本語表現Ⅱ	1後	1								1	
	日本語特講Ⅰ	2前	1								1	
	日本語特講Ⅱ	2後	1								1	
	小計(34科目)	-	6	41	0	0	0	0	0	0	0	30
	リテラシー・スポーツ科目	文章作成法Ⅰ	1前・後	1			1					1
		文章作成法Ⅱ	1前・後	1			1					1
		体育講義	1後	1								1
		体育実技	1前	1								2
		健康スポーツ演習	1前・後	2								3
		小計(5科目)	-	2	4	0	1	0	0	0	0	0
	カトリック教育科目	キリスト教学	1前・後	2								1
		キリスト教音楽概論	1前・後	2								1
		聖書とキリスト教	2前	2								1
		キリスト教と日本文化	2後	2								1
		キリスト教思想	2前	2								1
		キリスト教美術	2後	2								1
		キリスト教音楽	2後	2								1
		小計(7科目)	-	4	10	0	0	0	0	0	0	0
	ライフキャリア形成科目	ノートルダム学	1-2前	1			1					
		女性とライフキャリア	1前	2				1				1
		子育てとワークライフバランス	2前	1								1
		ホスピタリティ入門	1前・後	2								1
		キャリア形成	3前・後	2				1				
キャリア形成ゼミ		2通	2				1					
短期インターンシップ		1-2通	1				1					
インターンシップ		2-3-4通	2				1					
海外インターンシップ		2-3-4休	2				1					
小計(9科目)	-	0	15	0	1	2	0	0	0	0	2	
社会情報基礎科目	社会情報概論	1前	2			1						
	社会情報基礎演習Ⅰ	1前	1			2	2					
	社会情報基礎演習Ⅱ	1後	1			2	2					
	社会情報発展演習Ⅰ	2前	1			2	2					
	社会情報発展演習Ⅱ	2後	1			2	2					
	情報の科学と倫理	1前	2			1						
	哲学入門	1後	2								1	
	インターネット社会論	2-3-4後	2			1						
	ICTビジネス論	2-3後	2			1						
	暮らしの統計学	1後	2								1	
	AIとデータサイエンス	3前	2			1						
	情報技術リテラシー	2後	2								1	
	プログラミング演習	1後	2								1	
	アルゴリズム基礎	2前	2			1						
	情報処理	2前・後	2								1	
	SNSコミュニケーションスキル	1後	2			1						
	プレゼンテーション概論	2-3-4前	2				1					
小計(17科目)	-	8	22	0	3	3	0	0	0	0	3	
アカデミック・ライティング	アカデミック・ライティング	2前・後	2								1	
	情報演習Ⅰa	1前・後	1			1						
	情報演習Ⅰb	1前	1			1						

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
基盤科目	海外研修(語学)Ⅱa	1-2-3休	2									1	
	海外研修(語学)Ⅱb	1-2-3休	2									1	
	日本語講読Ⅰ	1前	1									1	
	日本語講読Ⅱ	1後	1									1	
	日本語表現Ⅰ	1前	1									1	
	日本語表現Ⅱ	1後	1									1	
	日本語特講Ⅰ	2前	1									1	
	日本語特講Ⅱ	2後	1									1	
	小計(34科目)	-	6	41	0	0	0	0	0	0	0	0	28
	リテラシー・スポーツ科目	文章作成法Ⅰ	1前・後	1				2					1
		文章作成法Ⅱ	1前・後	1				1					1
		体育講義	1後	1									1
		体育実技	1前	1									2
		健康スポーツ演習	1前・後	2									3
		小計(5科目)	-	2	4	0	2	0	0	0	0	0	0
	カトリック教育科目	キリスト教学	1前・後	2									1
		キリスト教音楽概論	1前・後	2									1
		聖書とキリスト教	2前	2									1
		キリスト教と日本文化	2後	2									1
		キリスト教思想	2前	2									1
		キリスト教美術	2前	2									1
		キリスト教音楽	2後	2									1
		小計(7科目)	-	4	10	0	0	0	0	0	0	0	0
	ライフキャリア形成科目	ノートルダム学	1-2前	1			1						
		女性とライフキャリア	1前	2						1			
		子育てとワークライフバランス	2前	1									1
		ホスピタリティ入門	1前・後	2									1
		キャリア形成	3前	2						1			
キャリア形成ゼミ		2通	2						1				
短期インターンシップ		1-2通	1						1				
インターンシップ		2-3-4通	2						1				
海外インターンシップ		2-3-4休	2						1				
小計(9科目)	-	0	15	0	1	2	0	0	0	0	0	2	
社会情報基礎科目	社会情報概論	1前	2			1							
	社会情報基礎演習Ⅰ	1前	1			2	2						
	社会情報基礎演習Ⅱ	1後	1			2	2						
	社会情報発展演習Ⅰ	2前	1			2	2						
	社会情報発展演習Ⅱ	2後	1			2	2						
	情報の科学と倫理	1前	2			1							
	哲学入門	1後	2									1	
	インターネット社会論	2-3-4後	2			1							
	ICTビジネス論	2-3後	2			1							
	暮らしの統計学	1後	2									1	
	AIとデータサイエンス	3前	2			1							
	情報技術リテラシー	2後	2									1	
	プログラミング演習	1後	2									1	
	アルゴリズム基礎	2前	2			1							
	情報処理	2前	2									1	
	SNSコミュニケーションスキル	1後	2			1							
	プレゼンテーション概論	2-3-4前	2				1						
小計(17科目)	-	8	22	0	4	3	0	0	0	0	0	3	
アカデミック・ライティング	アカデミック・ライティング	2後	2									1	
	情報演習Ⅰa	1前	1				2					1	
	情報演習Ⅰb	1前	1				1						

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	特別支援教育	2後		2							1
	情報メディアの活用	2-3-4期		2							1
	小計(10科目)	-	0	18	0	1	0	0	0	0	6
卒業研究・専門演習	社会情報演習	3通	4			6	4				
	卒業研究	4通	8			6	4				
	小計(2科目)	-	12	0	0	6	4	0	0	0	0
科教学目育際	海外文化研修	1-2-3-4期		1							1
	小計(1科目)	-	0	1	0	0	0	0	0	0	1
合計(149科目)		-	35	233	0	6	5	0	0	0	76

卒業要件及び履修方法

(1) 共通教育科目

必修科目14単位、教養科目の人間と文化及び生活と社会の2領域から各4単位以上及び人間と自然領域の選択科目から2単位以上、外国語科目の選択科目から4単位以上、カトリック教育科目の選択科目から2単位以上、ライフキャリア形成科目から2単位以上、全体から選択4単位以上、合計36単位以上修得する。ただし、外国人留学生にあっては、外国人留学生専用の日本語科目6単位の修得をもって外国語の必修科目の単位数に充てることができる。

(2) 社会情報連携科目

必修科目として社会情報基礎科目8単位、社会情報実践科目1単位、専門演習・卒業研究12単位の計21単位を修得し、選択必修科目として社会情報基礎科目から12単位以上、社会情報実践科目の選択科目から情報演習I a又は情報演習I bいずれか1単位を含み9単位以上、社会情報基礎科目及び社会情報実践科目の全体から選択6単位以上、社会情報展開科目の中から12単位以上、全体から選択8単位以上、合計68単位以上を修得する。

(3) 学際教育科目

海外文化研修及び他学科等科目から20単位まで履修できる。なお、他学科等科目の科目構成については、年度ごとに別途定める。

(4) (1)～(3)全体で124単位以上修得する。

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	特別支援教育	2後		2							1
	情報メディアの活用	2-3-4期		2							1
	小計(10科目)	-	0	18	0	1	0	0	0	0	6
卒業研究・専門演習	社会情報演習	3通	4			7	3				
	卒業研究	4通	8			7	3				
	小計(2科目)	-	12	0	0	7	3	0	0	0	0
科教学目育際	海外文化研修(未開講)	1-2-3-4期		1							
	小計(1科目)	-	0	1	0	0	0	0	0	0	0
合計(149科目)		-	35	233	0	7	4	0	0	0	78

卒業要件及び履修方法

(1) 共通教育科目

必修科目14単位、教養科目の人間と文化及び生活と社会の2領域から各4単位以上及び人間と自然領域の選択科目から2単位以上、外国語科目の選択科目から4単位以上、カトリック教育科目の選択科目から2単位以上、ライフキャリア形成科目から2単位以上、全体から選択4単位以上、合計36単位以上修得する。ただし、外国人留学生にあっては、外国人留学生専用の日本語科目6単位の修得をもって外国語の必修科目の単位数に充てることができる。

(2) 社会情報連携科目

必修科目として社会情報基礎科目8単位、社会情報実践科目1単位、専門演習・卒業研究12単位の計21単位を修得し、選択必修科目として社会情報基礎科目から12単位以上、社会情報実践科目の選択科目から情報演習I a又は情報演習I bいずれか1単位を含み9単位以上、社会情報基礎科目及び社会情報実践科目の全体から選択6単位以上、社会情報展開科目の中から12単位以上、全体から選択8単位以上、合計68単位以上を修得する。

(3) 学際教育科目

海外文化研修及び他学科等科目から20単位まで履修できる。なお、他学科等科目の科目構成については、年度ごとに別途定める。

(4) (1)～(3)全体で124単位以上修得する。

(注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
- ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
- ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
- ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
- ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「**臨地実務実習**」による授業科目には「【臨】」、「**連携実務演習**」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	

(1) ①-②授業科目表に関する変更内容

【令和5年度】

- ・開講期変更により、「日本文学」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- ・開講期変更により、「外国文学」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。
- ・開講期変更により、「憲法と人権」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。
- ・開講期変更により、「社会学概論」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- ・開講期変更により、「ボランティア概論」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- ・教員の担当見直しにより、「英語表現Ⅰ」の兼任・兼任を「9」から「8」に変更。
- ・教員の担当見直しにより、「英語表現Ⅱ」の兼任・兼任を「9」から「8」に変更。
- ・教育体制充実のため、「旅行の英会話」の兼任・兼任を「1」から「2」に変更。
- ・教育体制充実のため、「おもてなしの英会話」の兼任・兼任を「1」から「3」に変更。
- ・開講期変更により、「ビジネス英会話」の配当年次を「2前」から「2前・後」に変更。
- ・教員の担当見直しにより、「海外研修（語学）Ⅱa」の兼任・兼任を「2」から「1」に変更。
- ・教員の担当見直しにより、「海外研修（語学）Ⅱb」の兼任・兼任を「2」から「1」に変更。
- ・教員の担当見直しにより、「文章作成法Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に変更。
- ・教員の担当見直しにより、「文章作成法Ⅱ」の兼任・兼任を「1」から「0」に変更。
- ・開講期変更により、「キリスト教美術」の配当年次を「2後」から「2前」に変更。
- ・開講期変更により、「キャリア形成」の配当年次を「3前・後」から「3前」に変更。
- ・教員の担当見直しにより、「社会情報基礎演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・教育体制充実のため、「社会情報基礎演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授3」に変更。
- ・開講期変更により、「暮らしの統計学」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。
- ・開講期変更により、「情報処理」の配当年次を「2前・後」から「2前」に変更、教育体制充実のため、専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更。
- ・担当者の職名変更により、「プレゼンテーション概論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・開講期変更により、「アカデミック・ライティング」の配当年次を「2前・後」から「2後」に変更。
- ・開講期変更により、「情報演習Ⅰa」の配当年次を「1前・後」から「1前」に変更、教育体制充実のため、専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」、兼任・兼任を「0」から「1」に変更。
- ・教育体制充実のため、「情報演習Ⅱ」の兼任・兼任を「1」から「2」に変更。
- ・担当者の職名変更により、「プレゼンテーション演習」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当者の職名変更により、「話し方と自己表現」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・開講期変更により、「国際関係論」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・担当者の職名変更により、「スピーチの基礎」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・開講期変更により、「博物館情報・メディア論」の配当年次を「1・2・3・4後」から「1・2・3・4前」に変更。
- ・教員の担当見直しにより、「対人関係論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、兼任・兼任を「0」から「1」に変更。
- ・担当者の職名変更により、「社会情報演習」の専任教員等の配置を「教授6」から「教授7」、「准教授4」から「准教授3」に変更。
- ・担当者の職名変更により、「卒業研究」の専任教員等の配置を「教授6」から「教授7」、「准教授4」から「准教授3」に変更。

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
20 科目	129 科目	0 科目	149 科目	20 科目 [0]	129 科目 [0]	0 科目 [0]	149 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	海外文化研修	1	1・2・3・4	一般	選択	コロナウィルス等の影響により中止とした。2024年度開講に向け調整中。
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1		該当なし				
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

新型コロナウイルス及び円安の影響で海外での研修が実施できない状況となった。
未開講科目の周知については、履修の手引きにて周知している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{1}{149} = \boxed{0.67} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考					
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	校舎敷地と運動場用地 (300m, 徒歩5分)					
	校舎敷地	17,206 m ²	0 m ²	0 m ²	17,206 m ²						
	運動場用地	9,228 m ²	0 m ²	0 m ²	9,228 m ²						
	小 計	26,434 m ²	0 m ²	0 m ²	26,434 m ²						
	そ の 他	0 m ²	0 m ²	0 m ²	0 m ²						
	合 計	26,434 m ²	0 m ²	0 m ²	26,434 m ²						
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体					
		27,323 m ² (27,323 m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	27,323 m ² (27,323 m ²)						
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体				
		41室	6室	21室	4室 (補助職員 1人)	2室 (補助職員 3人)					
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数							
		社会情報課程		12 室							
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点				
		〔うち外国書〕冊	〔うち外国書〕種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕							
		社会情報課程	192,000 [32,400] (185,736 [31,341])	943 [322] (943 [322])				12 [11] (12 [11])	7,700 (7,666)	148 (148)	0 (0)
		計	192,000 [32,400] (185,736 [31,341])	943 [322] (943 [322])				12 [11] (12 [11])	7,700 (7,666)	148 (148)	0 (0)
(6) 図 書 館		面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体				
		3,625m ²	206		278,111						
(7) 体 育 館		面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体				
		2,004m ²	トラック 1面 テニスコート 4面		トレーニングルーム 1室						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	届出学科全体の最新額に変更(5) 図書購入費は電子ジャーナル・データベースの整備費(運用コスト含む)を含む。		
		教員1人当り研究費等	300千円	300千円	図書購入費	13,100千円 1,000千円	13,000千円 2,000千円	7,500千円 0千円			
		共同研究費等	1,500千円	1,500千円	設備購入費	5,000千円 1,000千円	5,000千円 2,000千円	5,000千円 0千円			
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次				
		1,380千円	1,180千円	1,180千円	1,180千円	— 千円	— 千円				
	学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常経費補助金、雑収入 等								

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和5年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(5)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	京都ノートルダム女子大学										1	0	1	0
	平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数	平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数	0	1	0									
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考	
	年	人	年次人	人		倍	倍	倍	倍	年度	年度			
社会情報課程	4	20	0	20	学士(社会情報)	0.75	-	0.75	-	-	令和5	京都府京都市左京区下鴨南野々神町1番地		
国際言語文化学部	4	130	3年次5	530	-	0.69	-	0.67	-	-	昭和36	-		
英語英文学科	4	80	3年次2	324	学士(文学)	0.62	-	0.60	-	-	昭和36	京都府京都市左京区下鴨南野々神町1番地		
国際日本文化学科	4	50	3年次3	206	学士(人間文化)	0.81	-	0.79	-	-	平成12	同上		
現代人間学部	4	220	0	940	-	0.77	-	0.77	-	令和5	平成29	-		
生活環境学科	4	63	0	273	学士(生活環境)	0.71	-	0.73	-	令和5	平成29	京都府京都市左京区下鴨南野々神町1番地	令和5年度から入学定員変更(70→63)	
心理学科	4	93	0	393	学士(心理学)	0.80	-	0.79	-	令和5	平成29	同上	令和5年度から入学定員変更(100→93)	
こども教育学科	4	64	0	274	学士(こども教育)	0.77	-	0.78	-	令和5	平成29	同上	令和5年度から入学定員変更(70→64)	
大学全体	4	370	3年次5	1490	-	-	-	-	-	-	-	-		

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
 (様式のうち、記載する必要がない学校種は削除してください。)
- ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
 なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
 - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 - ・「平均入学定員超過率(控除後含む)」及び「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<社会情報課程>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名	担当授業科目名
専	教授	伊藤 一美 (一) <令和5年4月> 修士(教育学)※	伊藤 一美 (一) <令和5年4月> 修士(教育学)※
		高齢者の心理学 社会情報演習 卒業研究	高齢者の心理学 社会情報演習 卒業研究
専	教授	牛田 好美 (一) <令和5年4月> 博士(社会学)	牛田 好美 (一) <令和5年4月> 博士(社会学)
		服飾心理学	服飾心理学
専	教授	尾崎(湯川) 仁美 (一) <令和5年4月> 博士(人間科学)	尾崎(湯川) 仁美 (一) <令和5年4月> 博士(人間科学)
		現代青年の心理学 社会情報演習 卒業研究	現代青年の心理学 社会情報演習 卒業研究
専	教授	北村 美穂子 (一) <令和5年4月> 博士(情報科学)	北村 美穂子 (一) <令和5年4月> 博士(情報科学)
		AIとデータサイエンス入門 社会情報基礎演習Ⅰ※ 社会情報基礎演習Ⅱ※ 社会情報発展演習Ⅰ 社会情報発展演習Ⅱ IoTビジネス論 AIとデータサイエンス アルゴリズム基礎 プログラミング実践 社会情報演習 卒業研究	AIとデータサイエンス入門 社会情報基礎演習Ⅰ※ 社会情報基礎演習Ⅱ※ 社会情報発展演習Ⅰ 社会情報発展演習Ⅱ IoTビジネス論 AIとデータサイエンス アルゴリズム基礎 情報演習Ⅰa プログラミング実践 社会情報演習 卒業研究
専	教授	神月 紀輔 (一) <令和5年4月> 修士(教育学)	神月 紀輔 (一) <令和5年4月> 修士(教育学)
		情報の科学と倫理 SNSコミュニケーションスキル 情報の科学と倫理 子供のネット安全教育の理論と実践※ 教育方法学 IoT活用教育 情報教育 算数 社会情報演習 卒業研究	文章作成法Ⅰ※ 情報の科学と倫理 SNSコミュニケーションスキル 情報の科学と倫理 子供のネット安全教育の理論と実践※ 教育方法学 IoT活用教育 情報教育 算数 社会情報演習 卒業研究
専	教授	松島 るみ (一) <令和5年4月> 博士(学校教育学)	松島 るみ (一) <令和5年4月> 博士(学校教育学)
		心理学入門 教育心理学概論 対人関係論 社会情報演習 卒業研究	心理学入門 教育心理学概論 社会情報演習 卒業研究
専	教授	吉田 智子 (一) <令和5年4月> 修士(社会学)	吉田 智子 (一) <令和5年4月> 修士(社会学)
		文章作成法Ⅰ 文章作成法Ⅱ ノートルダム学 海外インターンシップ 情報演習Ⅰa 情報演習Ⅰb 社会情報概論 社会情報基礎演習Ⅰ※ 社会情報基礎演習Ⅱ※ 社会情報発展演習Ⅰ 社会情報発展演習Ⅱ インターネット社会論 社会情報海外インターンシップ 社会情報演習 卒業研究	文章作成法Ⅰ 文章作成法Ⅱ ノートルダム学 海外インターンシップ 情報処理 情報演習Ⅰa 情報演習Ⅰb 社会情報概論 社会情報基礎演習Ⅰ※ 社会情報基礎演習Ⅱ※ 社会情報発展演習Ⅰ 社会情報発展演習Ⅱ インターネット社会論 社会情報海外インターンシップ 社会情報演習 卒業研究
専	准教授	青木(高柴) 加奈子 (一) <令和5年4月> 博士(学術)	青木(高柴) 加奈子 (一) <令和5年4月> 博士(学術)
		女性とライフキャリア 現代社会と家庭経営 家族社会学 社会情報演習 卒業研究	女性とライフキャリア 現代社会と家庭経営 家族社会学 社会情報演習 卒業研究
専	准教授	大風 薫 (一) <令和5年4月> 博士(社会科学)	大風 薫 (一) <令和5年4月> 博士(社会科学)
		生活経済学 消費生活 ライフプランニング論 社会情報演習 卒業研究	社会情報基礎演習Ⅱ※ 生活経済学 消費生活 ライフプランニング論 社会情報演習 卒業研究

【認可時又は届出時】

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専任	准教授	鎌田 均 (-) <令和5年4月> M.A.inMaster of Library and Information Science(米国)	社会情報基礎演習Ⅰ※ 社会情報基礎演習Ⅱ※ 社会情報発展演習Ⅰ 社会情報発展演習Ⅱ 情報・メディアの文化とリテラシー 図書館情報技術論 社会情報演習 卒業研究
専任	准教授	濱中 倫秀 (-) <令和5年4月> 学士(経済学)	キャリア形成 キャリア形成ゼミ 短期インターンシップ インターンシップ 社会情報基礎演習Ⅰ※ 社会情報基礎演習Ⅱ※ 社会情報発展演習Ⅰ 社会情報発展演習Ⅱ 社会情報フィールド研修 社会情報インターンシップ
専任	准教授	平野 美保 (-) <令和5年4月> 博士(教育)	プレゼンテーション概論 プレゼンテーション演習 話し方と自己表現 スピーチの基礎 社会情報演習 卒業研究
兼任	教授	石川 裕之 (-) <令和5年4月> 博士(教育学)	海外研修(語学)Ⅰ 教育史
兼任	教授	岩崎(馬詰) れい (-) <令和6年4月> 教育学修士	子育てとワークライフバランス 子どもの読書とメディア
兼任	教授	久野 将健 (-) <令和5年4月> 修士(音楽)	キリスト教音楽概論 キリスト教音楽
兼任	教授	河野 有時 (-) <令和5年10月> 修士(文学)	国際日本文化論
兼任	教授	朱(佐藤) 鳳 (-) <令和5年4月> 博士(人間・環境学)	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ
兼任	准教授	Steven Herder (-) <令和5年4月> Master of TESL	英語表現Ⅰ 英語表現Ⅱ
兼任	教授	鷺見 朗子 (-) <令和5年10月> Ph.D.in literature(米国)	外国文学 アラビア語
兼任	教授	竹原 広実 (-) <令和6年4月> 博士(学術)	福祉住環境デザイン
兼任	教授	田中 裕喜 (-) <令和5年4月> 修士(人間・環境学)※	哲学入門 教育原理

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専任	准教授	鎌田 均 (-) <令和5年4月> M.A.inMaster of Library and Information Science(米国)	社会情報基礎演習Ⅰ※ 社会情報基礎演習Ⅱ※ 社会情報発展演習Ⅰ 社会情報発展演習Ⅱ 情報・メディアの文化とリテラシー 図書館情報技術論 社会情報演習 卒業研究
専任	准教授	濱中 倫秀 (-) <令和5年4月> 学士(経済学)	キャリア形成 キャリア形成ゼミ 短期インターンシップ インターンシップ 社会情報基礎演習Ⅰ※ 社会情報基礎演習Ⅱ※ 社会情報発展演習Ⅰ 社会情報発展演習Ⅱ 社会情報フィールド研修 社会情報インターンシップ
専任	教授	平野 美保 (-) <令和5年4月> 博士(教育)	プレゼンテーション概論 プレゼンテーション演習 話し方と自己表現 スピーチの基礎 社会情報演習 卒業研究
兼任	教授	石川 裕之 (-) <令和5年4月> 博士(教育学)	海外研修(語学)Ⅰ 教育史
兼任	教授	岩崎(馬詰) れい (-) <令和6年4月> 教育学修士	子育てとワークライフバランス 子どもの読書とメディア
兼任	教授	久野 将健 (-) <令和5年4月> 修士(音楽)	キリスト教音楽概論 キリスト教音楽
兼任	教授	河野 有時 (-) <令和5年10月> 修士(文学)	国際日本文化論
兼任	教授	朱(佐藤) 鳳 (-) <令和5年4月> 博士(人間・環境学)	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ
兼任	教授	Steven Herder (-) <令和5年4月> Master of TESL	英語表現Ⅰ 英語表現Ⅱ フランス語 ロシア語Ⅰ ロシア語Ⅱ ロシア語Ⅲ
兼任	教授	鷺見 朗子 (-) <令和5年4月> Ph.D.in literature(米国)	外国文学 アラビア語
兼任	教授	竹原 広実 (-) <令和6年4月> 博士(学術)	福祉住環境デザイン
兼任	教授	田中 裕喜 (-) <令和5年4月> 修士(人間・環境学)※	哲学入門 教育原理

【認可時又は届出時】

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	東郷 多津 (一) <令和5年4月> 修士(教育学)※	
		英語表現Ⅰ 英語表現Ⅱ 海外研修(語学)Ⅱa 海外研修(語学)Ⅱb 子供のネット安全教育の理論と実践※	
兼任	教授	萩原 暢子 (一) <令和5年4月> 医学博士	
		身近な医学※	
兼任	教授	高井 直美 (一) <令和6年4月> 文学修士※	
		発達心理学概論	
兼任	准教授	菊野 雄一郎 (一) <令和5年10月> 博士(人間・環境学)	
		暮らしの統計学 知覚・認知心理学 学習・言語心理学	
兼任	准教授	金 美仙 (一) <令和5年4月> 修士(言語学)※	
		コリア語Ⅰ コリア語Ⅱ コリア語Ⅲ 文章作成法Ⅰ 文章作成法Ⅱ 海外文化研修	
兼任	准教授	薦田 未央 (一) <令和6年4月> 修士(教育学)	
		障害者・障害児心理学	
兼任	准教授	中里 郁子 (一) <令和5年4月> Doctorate of Sacred Theology(パチカン)	
		キリスト教学 聖書とキリスト教	
兼任	准教授	York Weatherford (一) <令和5年4月> M.A. (TESOL)(米国)	
		海外研修(語学)Ⅱa 海外研修(語学)Ⅱb	
兼任	准教授	吉田 朋子 (一) <令和6年10月> 修士(文学)※	
		キリスト教美術	
兼任	准教授	江川 正一 (一) <令和6年10月> 教育学士	
		特別支援教育	
兼任	講師	佐藤 真太郎 (一) <令和5年4月> 修士(教育学)	
		身近な自然科学	
兼任	講師	下田 麻衣 (一) <令和6年4月> 博士(社会心理学)	
		消費者行動の心理学	
兼任	講師	高田 佳孝 (一) <令和5年4月> 修士(教育学)	
		体育講義 健康スポーツ演習	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	東郷 多津 (一) <令和5年4月> 修士(教育学)※	
		英語表現Ⅰ 英語表現Ⅱ 海外研修(語学)Ⅱa 海外研修(語学)Ⅱb 子供のネット安全教育の理論と実践※	
兼任	教授	萩原 暢子 (一) <令和5年4月> 医学博士	
		身近な医学※	
兼任	教授	高井 直美 (一) <令和6年4月> 文学修士※	
		発達心理学概論	
兼任	准教授	菊野 雄一郎 (一) <令和5年4月> 博士(人間・環境学)	
		暮らしの統計学 知覚・認知心理学 学習・言語心理学	
兼任	准教授		
兼任	教授	薦田 未央 (一) <令和6年4月> 修士(教育学)	
		障害者・障害児心理学	
兼任	准教授	中里 郁子 (一) <令和5年4月> Doctorate of Sacred Theology(パチカン)	
		キリスト教学 聖書とキリスト教	
兼任	教授		
兼任	教授	吉田 朋子 (一) <令和6年4月> 修士(文学)※	
		キリスト教美術	
兼任	准教授	江川 正一 (一) <令和6年10月> 教育学士	
		特別支援教育	
兼任	講師	佐藤 真太郎 (一) <令和5年4月> 修士(教育学)	
		身近な自然科学	
兼任	講師	下田 麻衣 (一) <令和6年4月> 博士(社会心理学)	
		対人関係論 消費者行動の心理学	
兼任	講師	高田 佳孝 (一) <令和5年4月> 修士(教育学)	
		体育講義 健康スポーツ演習	

【認可時又は届出時】

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	中藤 信哉 (-) <令和5年4月> 博士(教育学)	心理カウンセリング概論
兼任	講師	武田 悠希 (-) <令和5年4月> 博士(文学)	日本文学
兼任	講師	小林 健太 (-) <令和5年4月> 博士(文学)	日本近現代史
兼任	講師	根岸 智代 (-) <令和5年4月> 博士(学術)	東アジア近現代史
兼任	講師	上山 益己 (-) <令和5年10月> 修士(文学)※	ヨーロッパ近現代史
兼任	講師	寺西 みどり (-) <令和5年4月> 修士(教育文化学)※	歴史の中の女性 英語理解Ⅰ 英語理解Ⅱ
兼任	講師	橋 健一 (-) <令和5年10月> 博士(学術)	文化人類学
兼任	講師	草鹿 晋一 (-) <令和5年4月> 法学修士	暮らしの法律学
兼任	講師	原島 啓之 (-) <令和5年10月> 博士(法学)	憲法と人権
兼任	講師	秋田 朝美 (-) <令和5年10月> 博士(経済学)	暮らしの経済学
兼任	講師	北澤 義之 (-) <令和5年4月> 国際学修士	国際関係論入門 国際関係論
兼任	講師	翁 和美 (-) <令和5年4月> 文学博士	社会学概論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	准教授	大西 誠也 (-) <令和5年4月> 博士(学校教育学)	文章作成法Ⅰ※
兼任	講師	仲倉 高広 (-) <令和5年4月> 修士(社会学)	心理カウンセリング概論
兼任	講師	武田 悠希 (-) <令和5年10月> 博士(文学)	日本文学
兼任	講師	小林 健太 (-) <令和5年4月> 博士(文学)	日本近現代史
兼任	講師	根岸 智代 (-) <令和5年4月> 博士(学術)	東アジア近現代史
兼任	講師	上山 益己 (-) <令和5年10月> 修士(文学)※	ヨーロッパ近現代史
兼任	講師	寺西 みどり (-) <令和5年4月> 修士(教育文化学)※	歴史の中の女性 英語理解Ⅰ 英語理解Ⅱ
兼任	講師	橋 健一 (-) <令和5年10月> 博士(学術)	文化人類学
兼任	講師	草鹿 晋一 (-) <令和5年4月> 法学修士	暮らしの法律学
兼任	講師	秋田 朝美 (-) <令和5年10月> 博士(経済学)	暮らしの経済学
兼任	講師	翁 和美 (-) <令和5年10月> 文学博士	社会学概論

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	藤田 朋子 (--) <令和5年10月> 修士(人間科学)
		ジェンダー論
兼任	講師	芝原 浩美 (--) <令和5年4月> 修士(法学)
		ボランティア概論
兼任	講師	安永 龍子 (--) <令和5年4月> 修士(社会福祉学)
		身近な医学※
兼任	講師	松井 吉康 (--) <令和5年4月> 文学修士※
		生命倫理 哲学とキリスト教
兼任	講師	金光 安芸子 (--) <令和6年10月> 理学士
		A I とデータサイエンス入門
兼任	講師	Thomas Nishikawa (--) <令和5年4月> Masters of Applied Linguistics (TESOL)
		英語理解 I 英語理解 II 留学の英会話 おもてなしの英会話
兼任	講師	榎本 一美 (--) <令和5年4月> Masters of Education
		英語理解 I 英語理解 II
兼任	講師	田中 祐子 (--) <令和5年4月> 博士(文学)
		英語理解 I 英語理解 II
兼任	講師	中西 悠子 (--) <令和5年4月> M.A. in Applied Linguistics
		英語理解 I 英語理解 II
兼任	講師	星原 光江 (--) <令和5年4月> 修士(応用英語)
		英語理解 I 英語理解 II 英語表現 I 英語表現 II
兼任	講師	黒田 一平 (--) <令和5年4月> 修士(人間・環境学)※
		英語理解 I 英語理解 II 英語表現 I 英語表現 II
兼任	講師	伊村 大樹 (--) <令和5年4月> 修士(文学)※
		英語理解 I 英語理解 II 実用英語基礎 身近な英文法
兼任	講師	藤本 幸治 (--) <令和5年4月> 文学修士
		英語表現 I 英語表現 II

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	藤田 朋子 (--) <令和5年10月> 修士(人間科学)
		ジェンダー論
兼任	講師	芝原 浩美 (--) <令和5年10月> 修士(法学)
		ボランティア概論
兼任	講師	安永 龍子 (--) <令和5年4月> 修士(社会福祉学)
		身近な医学※
兼任	講師	松井 吉康 (--) <令和5年4月> 文学修士※
		生命倫理 哲学とキリスト教
兼任	講師	金光 安芸子 (--) <令和6年10月> 理学士
		A I とデータサイエンス入門
兼任	講師	Thomas Nishikawa (--) <令和5年4月> Masters of Applied Linguistics (TESOL)
		英語理解 I 英語理解 II 留学の英会話 おもてなしの英会話
兼任	講師	榎本 一美 (--) <令和5年4月> Masters of Education
		英語理解 I 英語理解 II
兼任	講師	田中 祐子 (--) <令和5年4月> 博士(文学)
		英語理解 I 英語理解 II
兼任	講師	中西 悠子 (--) <令和5年4月> M.A. in Applied Linguistics
		英語理解 I 英語理解 II
兼任	講師	星原 光江 (--) <令和5年4月> 修士(応用英語)
		英語理解 I 英語理解 II 英語表現 I 英語表現 II
兼任	講師	黒田 一平 (--) <令和5年4月> 修士(人間・環境学)※
		英語理解 I 英語理解 II 英語表現 I 英語表現 II アカデミック・ライティング
兼任	講師	伊村 大樹 (--) <令和5年4月> 修士(文学)※
		英語理解 I 英語理解 II 実用英語基礎 身近な英文法
兼任	講師	藤本 幸治 (--) <令和5年4月> 文学修士
		英語表現 I 英語表現 II

【認可時又は届出時】

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	田中 美和子 (--) <令和5年4月> 博士(英語学)	英語表現 I 英語表現 II
兼任	講師	今村 梨沙 (--) <令和5年4月> 修士(英語英文学)	英語表現 I 英語表現 II
兼任	講師	岡崎 央希 (--) <令和5年4月> 修士(応用英語)	英語表現 I 英語表現 II
兼任	講師	平野 あかり (--) <令和5年4月> Language Teaching Master of Science	英語表現 I 英語表現 II
兼任	講師	Jacques W. Hardy (--) <令和5年4月> PhD in Foreign Language Education	日常の英会話 英語リスニング 英語実践(4技能) I 英語実践(4技能) II
兼任	講師	Eric Hail (--) <令和6年4月> M.A. in German literature	日常の英会話 旅行の英会話 ビジネス英会話
兼任	講師	Nikan Sadehvandi (--) <令和5年4月> 博士(教育学)	日常の英会話 歌って覚える英語表現 英語実践(4技能) I 英語実践(4技能) II
兼任	講師	Jodie Campbell (--) <令和5年4月> M.Ed(TESL)	旅行の英会話 おもてなしの英会話 英語実践(4技能) I 英語実践(4技能) II
兼任	講師	青木 三隣 (--) <令和5年4月> 博士(人間・環境学)	ドイツ語
兼任	講師	田中 敏彦 (--) <令和5年10月> 文学修士	フランス語
兼任	講師	平山 幸乃 (--) <令和5年4月> 博士(言語文化)	スペイン語
兼任	講師	陶 盈 (--) <令和5年4月> 修士(人間・環境学)	中国語 I
兼任	講師	陳 捷 (--) <令和5年4月> 博士(人間・環境学)	中国語 I

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	田中 美和子 (--) <令和5年4月> 博士(英語学)	英語表現 I 英語表現 II
兼任	講師	今村 梨沙 (--) <令和5年4月> 修士(英語英文学)	英語表現 I 英語表現 II
兼任	講師	岡崎 央希 (--) <令和5年4月> 修士(応用英語)	英語表現 I 英語表現 II
兼任	講師	Eric Hail (--) <令和6年4月> M.A. in German literature	日常の英会話 旅行の英会話 ビジネス英会話
兼任	講師	Nikan Sadehvandi (--) <令和5年4月> 博士(教育学)	日常の英会話 おもてなしの英会話 歌って覚える英語表現 英語実践(4技能) I 英語実践(4技能) II
兼任	講師	Jodie Campbell (--) <令和5年4月> M.Ed(TESL)	旅行の英会話 おもてなしの英会話 英語実践(4技能) I 英語実践(4技能) II
兼任	講師	青木 三隣 (--) <令和5年4月> 博士(人間・環境学)	ドイツ語
兼任	講師	平山 幸乃 (--) <令和5年4月> 博士(言語文化)	スペイン語
兼任	講師	陶 盈 (--) <令和5年4月> 修士(人間・環境学)	中国語 I
兼任	講師	陳 捷 (--) <令和5年4月> 博士(人間・環境学)	中国語 I

【認可時又は届出時】

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	稲垣 顕子 (--) <令和5年4月> 修士(言語文化学)
		日本語講義Ⅰ 日本語講義Ⅱ 日本語特講Ⅱ
兼任	講師	高岸 雅子 (--) <令和5年4月> 修士(アメリカ研究)
		日本語表現Ⅰ 日本語表現Ⅱ
兼任	講師	田中 貴子 (--) <令和6年4月> 修士(外国語教育学)
		日本語特講Ⅰ
兼任	講師	野村 照夫 (--) <令和5年4月> 博士(学術)
		健康スポーツ演習 体育実技
兼任	講師	野村 晴美 (--) <令和5年4月> 体育学士
		健康スポーツ演習 体育実技
兼任	講師	増田 斎 (--) <令和6年10月> 修士(神学)
		キリスト教と日本文化
兼任	講師	山口 隆介 (--) <令和6年4月> 修士(哲学)※
		キリスト教思想
兼任	講師	光末 香恵美 (--) <令和5年4月> 学士(文学)
		ホスピタリティ入門
兼任	講師	伊藤 泰子 (--) <令和5年10月> 文学士
		情報技術リテラシー プログラミング演習 情報処理 情報演習Ⅱ
兼任	講師	田丸 歩実 (--) <令和6年4月> 修士(人間・環境学)※
		アカデミック・ライティング
兼任	講師	荻原 靖史 (--) <令和5年10月> 法学士
		現代ジャーナリズム入門
兼任	講師	森 公一 (--) <令和6年10月> 教育学修士
		メディアコンテンツ表現法
兼任	講師	山下 晃平 (--) <令和5年10月> 博士(美術)
		博物館情報・メディア論
兼任	講師	新村 佳史 (--) <令和6年4月> 教育学士
		ビジネスの基礎Ⅰ ビジネスの基礎Ⅱ マーケティング論 ソーシャルマーケティング論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	稲垣 顕子 (--) <令和5年4月> 修士(言語文化学)
		日本語講義Ⅰ 日本語講義Ⅱ 日本語特講Ⅱ
兼任	講師	高岸 雅子 (--) <令和5年4月> 修士(アメリカ研究)
		日本語表現Ⅰ 日本語表現Ⅱ
兼任	講師	田中 貴子 (--) <令和6年4月> 修士(外国語教育学)
		日本語特講Ⅰ
兼任	講師	野村 照夫 (--) <令和5年4月> 博士(学術)
		健康スポーツ演習 体育実技
兼任	講師	野村 晴美 (--) <令和5年4月> 体育学士
		健康スポーツ演習 体育実技
兼任	講師	増田 斎 (--) <令和6年10月> 修士(神学)
		キリスト教と日本文化
兼任	講師	山口 隆介 (--) <令和6年4月> 修士(哲学)※
		キリスト教思想
兼任	講師	光末 香恵美 (--) <令和5年4月> 学士(文学)
		ホスピタリティ入門
兼任	講師	伊藤 泰子 (--) <令和5年10月> 文学士
		情報技術リテラシー プログラミング演習 情報処理 情報演習Ⅱ
兼任	講師	
兼任	講師	荻原 靖史 (--) <令和5年10月> 法学士
		現代ジャーナリズム入門
兼任	講師	森 公一 (--) <令和6年10月> 教育学修士
		メディアコンテンツ表現法
兼任	講師	山下 晃平 (--) <令和5年4月> 博士(美術)
		博物館情報・メディア論
兼任	講師	新村 佳史 (--) <令和6年4月> 教育学士
		ビジネスの基礎Ⅰ ビジネスの基礎Ⅱ マーケティング論 ソーシャルマーケティング論

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	濱口 桂 (一) <令和7年10月> 学士(社会学)
		女性起業論
兼任	講師	数 哲郎 (一) <令和5年10月> 博士(工学)※
		家庭電気・機械及び情報処理
兼任	講師	牛田 好美 (一) <令和6年10月> 博士(社会学)
		服飾心理学
兼任	講師	福山 幸子 (一) <令和6年10月> 修士(社会学)※
		社会・集団・家族心理学Ⅱ(家族)
兼任	講師	渡辺 智美 (一) <令和8年4月> 修士(教育学)
		国際理解教育
兼任	講師	原 清治 (一) <令和6年4月> 博士(学術)
		教育社会学
兼任	講師	西尾 純子 (一) <令和6年4月> 修士(都市情報学)
		情報メディアの活用
兼任	講師	有坂 真太郎 (一) <令和5年4月> 修士(政治学)
		憲法と人権
兼任	講師	Isobel Hook (一) <令和5年4月> Master of Education in TESOL
		日常の英会話 英語リスニング 英語実践(4技能)Ⅰ 英語実践(4技能)Ⅱ
兼任	講師	大谷 俊郎 (一) <令和5年4月> 学士(芸術)
		情報演習Ⅰa 情報演習Ⅱ
兼任	講師	山本 和也 (一) <令和5年4月> 博士(学術)
		国際関係論入門 国際関係論

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	濱口 桂 (一) <令和7年10月> 学士(社会学)
		女性起業論
兼任	講師	数 哲郎 (一) <令和5年10月> 博士(工学)※
		家庭電気・機械及び情報処理
兼任	講師	牛田 好美 (一) <令和6年10月> 博士(社会学)
		服飾心理学
兼任	講師	福山 幸子 (一) <令和6年10月> 修士(社会学)※
		社会・集団・家族心理学Ⅱ(家族)
兼任	講師	渡辺 智美 (一) <令和8年4月> 修士(教育学)
		国際理解教育
兼任	講師	原 清治 (一) <令和6年4月> 博士(学術)
		教育社会学
兼任	講師	西尾 純子 (一) <令和6年4月> 修士(都市情報学)
		情報メディアの活用
兼任	講師	有坂 真太郎 (一) <令和5年4月> 修士(政治学)
		憲法と人権
兼任	講師	Isobel Hook (一) <令和5年4月> Master of Education in TESOL
		日常の英会話 英語リスニング 英語実践(4技能)Ⅰ 英語実践(4技能)Ⅱ
兼任	講師	大谷 俊郎 (一) <令和5年4月> 学士(芸術)
		情報演習Ⅰa 情報演習Ⅱ
兼任	講師	山本 和也 (一) <令和5年4月> 博士(学術)
		国際関係論入門 国際関係論

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
 ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
 ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(兼任・兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
 その上で、各年度については、**既出時又は届出時が変更となっている場合は赤字として記入してください。**
 ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください)。
 ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
 ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目名を記入してください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和5年度】

- ・教育体制充実のため、北村美穂子 専任教授に「情報演習Ⅰa」を追加。
- ・教員の担当見直しにより、「対人関係論」を松島るみ 専任教授から下田麻衣 兼任講師に変更。
- ・教育体制充実のため、吉田智子 専任教授に「情報処理」を追加。
- ・教育体制充実のため、大風薫 専任准教授に「社会情報基礎演習Ⅱ」を追加。
- ・教員の担当見直しにより、濱中倫秀 専任准教授は「社会情報基礎演習Ⅰ」を担当しない。
- ・平野美保 専任准教授の職名が、令和5年4月から准教授から教授に変更。
- ・Steven Herder 兼任准教授の職名が、令和4年4月准教授から教授に変更。
- ・科目開講期の変更により、篤見朗子 兼任准教授の就任が令和5年10月から令和5年4月に変更。
- ・科目開講期の変更により、菊野雄一郎 兼任准教授の就任が令和5年10月から令和5年4月に変更。
- ・金美仙 兼任准教授の辞退により、「コア語Ⅰ」「コア語Ⅱ」「コア語Ⅲ」はSteven Herder 兼任教授に、「文章作成法Ⅰ」は神月紀輔 専任教授、大西慎也 兼任准教授に変更。「文章作成法Ⅱ」は担当しない。「海外文化研修」は未開講。
- ・藤田未央 兼任准教授の職名が、令和5年4月から准教授から教授に変更。
- ・教員の担当見直しにより、York Weatherford 兼任准教授は「海外研修（語学）Ⅱa」「海外研修（語学）Ⅱb」を担当しない。
- ・吉田朋子 兼任准教授の職名が、令和5年4月から准教授から教授に変更。科目開講期の変更により、就任が令和6年10月から令和6年4月に変更。
- ・中藤信哉 兼任講師の辞退により、仲倉高広 兼任講師の補充。
- ・科目開講期の変更により、武田悠希 兼任講師の就任が令和5年4月から令和5年10月に変更。
- ・原島啓之 兼任講師の辞退により、有坂真太郎 兼任講師の補充。
- ・北澤善之 兼任講師の辞退により、山本和也 兼任講師の補充。
- ・科目開講期の変更により、翁和美 兼任講師の就任が令和5年4月から令和5年10月に変更。
- ・科目開講期の変更により、芝原浩美 兼任講師の就任が令和5年4月から令和5年10月に変更。
- ・平野あかり 兼任講師の辞退により、「英語表現Ⅰ」「英語表現Ⅱ」を担当しない。
- ・Jacques W. Hardy 兼任講師の辞退により、Isobel Hook 兼任講師の補充。
- ・教育体制充実のため、Nikan Sadehvandi 兼任講師に「おもてなしの英会話」を追加。
- ・教育体制充実のため、Jodie Campbell 兼任講師に「旅行の英会話」「おもてなしの英会話」を追加。
- ・田中敏彦 兼任講師の辞退により、Steven Herder 兼任教授に変更。
- ・田丸歩実 兼任講師の辞退により、黒田一平 兼任講師に変更。
- ・科目開講期の変更により、山下晃平 兼任講師の就任が令和5年10月から令和5年4月に変更。
- ・教育体制充実のため、大谷俊郎 兼任講師に「情報演習Ⅰa」「情報演習Ⅱ」を追加。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ AC教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
	10 名 5 名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。
 ・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
6	5	0	0	11	0	8	4	0	0	12	0
(7)	(5)	(0)	(0)	(12)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
8	4	0	0	12	0	8	4	0	0	12	0
[2]	[Δ1]	[0]	[0]	[1]	[0]	[2]	[Δ1]	[0]	[0]	[1]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(C)）の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{12}{11} = \boxed{109.09} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{12} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
	6
名	3 名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。
 ・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高专】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
6	4	1	0	11	0	8	2	1	0	11	0
(6)	(4)	(1)	(0)	(11)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
8	2	1	0	11	0	8	2	1	0	11	0
[2]	[Δ2]	[0]	[0]	[0]	[0]	[2]	[Δ2]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{11}{11} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{11} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) 専任教員数等

(注)・計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織(学科連係課程実施学科)の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二(短期大学設置基準第三条の二)に基づく「連係協力学部等(連係協力学科)」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等(連係協力学科)ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
	6
11	
名	名

(注)・大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。
 ・高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在(報告時)の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
6	4	2	0	12	0	7	4	0	0	11	0
(7)	(4)	(0)	(0)	(11)	(0)						
現在(報告時)の完成年度時の状況						現在(報告時)の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
6	4	2	0	12	0	6	4	2	0	12	0
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
 ・「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 ・「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)
 ・「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(C))の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
歳	名	名

(注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{12}{12} = \boxed{100} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{0}{11} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織(学科連係課程実施学科)の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二(短期大学設置基準第三条の二)に基づく「連係協力学部等(連係協力学科)」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等(連係協力学科)ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
	5
10	
名	名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。
 ・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在(報告時)の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
6	6	2	0	14	0	7	2	4	0	13	0
(6)	(5)	(2)	(0)	(13)	0						
現在(報告時)の完成年度時の状況						現在(報告時)の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
7	2	3	0	12	0	7	2	3	0	12	0
[1]	[Δ4]	[1]	[0]	[Δ2]	[0]	[1]	[Δ4]	[1]	[0]	[Δ2]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、 []内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(C))の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{12}{14} = \boxed{85.71} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{0}{13} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織(学科連係課程実施学科)の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二(短期大学設置基準第三条の二)に基づく「連係協力学部等(連係協力学科)」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等(連係協力学科)ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
	8
	4
	名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。
 ・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在(報告時)の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
5	7	3	0	15	0	4	8	3	0	15	0
(5)	(8)	(3)	(0)	(16)	(0)						
現在(報告時)の完成年度時の状況						現在(報告時)の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
4	4	3	0	11	0	4	4	3	0	11	0
[Δ1]	[Δ3]	[0]	[0]	[Δ4]	[0]	[Δ1]	[Δ3]	[0]	[0]	[Δ4]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、 []内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(C))の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{11}{15} = \boxed{73.33} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{0}{15} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
		該当なし								
合計 (D)						後任補充状況の集計 (E)				
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	#VALUE!	科目	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目
		選択	#VALUE!	科目	選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目
		自由	#VALUE!	科目	自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目
		計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		該当なし								
合計 (F)						後任補充状況の集計 (G)				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	#VALUE!	科目	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目
		選択	#VALUE!	科目	選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目
		自由	#VALUE!	科目	自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目
		計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について、記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)					後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	#VALUE!	科目	必修	##### 科目	必修	##### 科目	必修	##### 科目
		選択	#VALUE!	科目	選択	##### 科目	選択	##### 科目	選択	##### 科目
		自由	#VALUE!	科目	自由	##### 科目	自由	##### 科目	自由	##### 科目
		計	#VALUE!	科目	計	##### 科目	計	##### 科目	計	##### 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{\#DIV/0!} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和4年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
 ・ 令和5年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	#VALUE!	科目	必修	〇〇	科目	必修	〇〇	科目
		選択	#VALUE!	科目	選択	〇〇	科目	選択	〇〇	科目
		自由	#VALUE!	科目	自由	〇〇	科目	自由	〇〇	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について、記入してください。

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (令和4年)	該当なし		
認 可 時 (令和〇〇年)			
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和〇〇年度)			
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和△△年度)			
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和□□度)			
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和□□年度)			
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和□□年度)			

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。

【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4) (5)」と記載してください。

【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。

・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。

その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。

・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。

・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。

・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<社会情報課程>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>FD活動</p> <ul style="list-style-type: none">・ 京都ノートルダム女子大学FD委員会を設置（別添1 参照） <p>SD活動</p> <ul style="list-style-type: none">・ 学校法人または大学事務局において実施 <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>FD活動</p> <ul style="list-style-type: none">・ 毎月1回（8月及び12月を除く）年間10回開催・ 委員は各学科から選出された教員と担当課長で構成し、開催は全員出席を原則としている。 <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>FD活動</p> <ul style="list-style-type: none">・ FD活動の企画立案・ FD活動の実施計画の策定及び評価・ FDに関する研修及び研究・ FD報告書の作成・ FDに関する情報の収集と提供・ FD関係団体との連携に関すること 等 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>FD活動</p> <ul style="list-style-type: none">・ FD研修会・ オープンクラス開催 <p>SD活動</p> <ul style="list-style-type: none">・ ノートルダム三校合同研修会・ 新任教職員研修会・ 教職員研修会・ 授業方法について研究会 <p>b 実施方法</p>
--

- FD活動・・・複数の機会を提供し教員参加の機会を確保
- ・FD研修会：外部講師による教育の質保証、授業の改善等に関する講演の開催。
ワークショップ形式でグループディスカッション等を行っている。
 - ・オープンクラス：教員が相互に授業参観し、参観した授業についての意見や提案のコメント提出する。

SD活動

- ・ノートルダム三校合同研修会：設立理念（ミッション・コミットメント）
- ・新任教職員研修会：カトリック学校の使命、教育精神等
- ・教職員研修会：外部講師による講義及びオンライン講座への参加等
- ①ハラスメント防止研修
- ②法令研修「少ない専門知識で法令を理解する-大学設置基準改正を材料に-」
- ③放送大学「数理・AI・データサイエンス入門」

c 開催状況（教員の参加状況含む）

FD活動・・・2022年度は、専任教員全員が以下のいずれかもしくはすべての活動に参加

- ・FD研修会
参加者数：61名（専任教員54名、職員6名、理事長）
- ・オープンクラス

授業実践においてICTを有効に活用されている事例を各学科で選定し、1授業あたり30分程度の映像を視聴する形式で実施した。映像は、オープンクラス実施に先立つ6月から7月にかけて対面授業を撮影したものをMicrosoft Streamにて学内限定で公開した。オープンクラス参加者は、視聴した授業についての感想や助言（コメントシート）を提出することとし、その内容を授業担当教員へフィードバックした。

2022年度 オープンクラス実施状況

実施期間：2022年8月1日（月）～9月20日（火）

参加者数：64人

コメントシート提出数：67人

（複数の授業を視聴しコメントシートを提出した参加者がいるため、コメント数と参加者数が異なる。）

SD活動

- ・ノートルダム三校合同研修会…参加者数 教員57名（事務系51名）
- ・新任教職員研修会…参加者数 新規採用教職員 教員18名（事務系8名）
- ・教職員研修会…①参加者数 教員30名（事務系43名）
②参加者数 教員 4名（事務系40名）
③参加者数 教員 8名（事務系23名）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・研修会によって、大学教育の動向や本学の課題等が教員間で共有され、授業改善に活かされている。
- ・オープンクラスでは、教員が相互に授業を参観することで、授業方法の知識や技能を共有し授業改善に反映されるよう意識共有を図っている。
- ・大学の設立理念や学部・学科の設置趣旨等を再確認することにより、教育・指導に活かしている。
- ・SD活動によって、主に事務系職員が基本的な教育関係法令に精通した質の高い業務サービスを行うことにより、間接的に教育の改善に活かされている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

実施：有

実施時期：前期 2022年7月

後期 2023年1月

b 教員や学生への公開状況、方法等

学内に導入しているオンライン授業支援システム manaba を用いて、年2回「学生による授業評価アンケート」を実施している。アンケート集計は回答後即時公開され、授業担当教員に共有された。期間終了後には、アンケート集計結果に対しコメントを記入するよう各担当教員に依頼し、学生へのフィードバックを行った。フィードバックコメントは受講学生に公開される。全体の集計結果は「FD報告書」において学内外に公開されている。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

<p>① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見</p> <p>社会情報課程の教育目標、養成する人材像の育成を達成するため、設置の趣旨等を記載した書類（別添2参照）に明記されたカリキュラム・ポリシー、実習の実施方法を含む教育方法、履修指導方法に基づいた教育・研究を実施している。</p> <p>本課程は、令和5年4月に第1期15名の入学者を迎え入れた。新入生を対象として、オリエンテーションを実施し、本学の教育理念および本課程の教育目標、学位授与方針をはじめ、共通教育科目、社会情報連携科目などのカリキュラム説明を含む履修ガイダンスを行い、きめ細やかな履修指導を実施した。1年間に取得できる単位の上限を46単位と定め、資格取得やゼミ配属へ向けての十分な説明と共に、初年次教育の担当教員全員が履修登録時も個別の質問等に対応した。その後、フレッシュマンセミナーで、充実した学生生活が送れるように、学科独自の企画内容により、教員との交流を深めた。以上のとおり、設置の趣旨・目的を達成するための第一歩として、適正な取り組みを行っており、初年次教育を順調にスタートさせていると言える。なお、今年度の一期生は、定員20名に対して入学者は15名の結果であり、6月末に設置届出受理の連絡を受けてからの本格広報活動となり学生募集に不利になった面もある。令和6年度募集にあたっては、入試広報（大学ホームページ（スマートフォン対応を含めて）や高等学校への学校訪問、個別説明会等）及び高等学校の模擬授業などを通じて、高校3年生だけでなく1、2年生への情報発信を含めて、本課程の設置の目的や意義、教育課程の特色の周知を図り、志願者数の拡大に努めたい。</p>
<p>② 自己点検・評価報告書</p> <p>a 公表（予定）時期</p> <p>・令和6年5月1日 公表予定</p> <p>b 公表方法</p> <p>・大学ホームページ上に公開予定（令和6年5月末を予定）</p>
<p>③ 認証評価を受ける計画</p> <p>・令和4年に評価機関（公益財団法人大学基準協会）による認証評価を受審し、大学基準に適合しているとの認定を受けた（認定期間：令和5年4月1日～令和12年3月31日）。次回は令和11年までの受審を予定している。</p>

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

<p>○ 設置計画履行状況報告書（令和5年度）</p> <p>a 公表予定の有無 [<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無]</p> <p>《aで「有」の場合》</p> <p>b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]</p> <p>c 公表方法 [<input checked="" type="checkbox"/> ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]</p> <p>《aで公表「無」の場合》</p> <p>d 公表しない理由 []</p>

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。